

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

保護者等数 7 回収数 7 割合 100%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	70%	15%		15%	10~14時の利用ですが十分にスペースが確保されていると思います	法令に沿ったスペースではありませんが、状況に応じて体育館や野外など活動範囲を広げる工夫をしています。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	70%	30%			本人への関わり方や記録を通じて専門性の高さ配置数も適切と思う	専門職員がマンツーマンにて対応させていただいております。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	55%	15%			どこに何があるのかが見やすくわかりやすいです。段差がないため配慮されています。	子どもたちが利用しやすいように、所定の玩具の収納場所などをその都度伝えさせていただいています。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	70%	15%		15%	オムツ交換時などは衝立をあげプライバシーに配慮されており清掃もしっかりとされている	終了時は玩具や椅子等の消毒就業前は、掃除、セラピーマットの消毒を行っています。
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画 <sup>ii</sup> が作成されているか	85%			15%	相談員作成の計画書と目標が同じでSoraでアセスメントがされているのか疑問に思います。	三者面談会議にて決まった計画書をベースにしながらその時のお子様へ寄り添い今を大切にサービスを提供しておりますが、ご要望がありましたら対応させていただきますのでお気軽にご相談ください。
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	70%			30%	・児発管より、個別支援計画の内容について説明がないので、判断材料がありません ・具体的に行動レベルで支援内容が設定されていません。	個別支援計画書に対してのより詳しい説明を希望される方には個別面談にて児発管あるいは管理者が説明させていただいております。
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	85%			15%	・計画に沿って適切な支援が行なわれています。 ・サービスの実施状況について情報がないため判断できない	・日々の連絡ノートに、実施状況を書かせていただいております。
	⑧	活動プログラム <sup>iii</sup> が固定化しないよう工夫されているか	85%	15%			・毎日異なる活動をしており本人の発達に合わせた活動をしていただいております。 ありがとうございます。	・保育士が日々、療育情報を入力し活動を工夫しております。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	15%	30%	15%	40%	・コロナやインフルエンザや感染症流行しているため交流の機会を設けるのは難しいと考えます。	・まだまだ感染対策が必要な状況でしたので直接的交流は行っておりませんが、福祉交流プラザ主催のイベント参加時や近隣の西小学校の子どもたちとの交流もありました。
保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	85%		15%		・契約時に丁寧な説明を受けました。 ・料金変更時の対応が遅いと思います。	・利用契約時に説明をしています。料金変更は行ったことはありませんが、ご不明な点はその都度ご説明させていただきます。
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	70%	15%	15%		・特性や個性に寄り添った支援計画が作成されており支援内容の説明をうけました。 ・児発管より説明がされたことはありません。	・個別支援計画書の変更時や児発管あるいは管理者が説明させていただきます。また支援計画書に沿いながらも日々の支援の中での微調整は連絡ノートや公式ライン、電話などでご連絡させていただきます。
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング <sup>iv</sup> 等）が行われているか	40%	15%	30%	15%	・困りごとに対して共に考えてくださり本人の考えや行動を変えるのではなく周りが環境を整えてあるがままに受け止めてくださるので日々学ぶことが多く良い刺激を受けました。	・わたしたちの方こそ、ご家族の皆様へ学ばせていただいております。ご家族の皆様と共にお子様のすこやかなご支援ができますよう、これからも励みさせていただきます。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	85%	15%			・連絡ノートや口頭で伝えてもらって嬉しい。ラインで写真や動画も送ると楽しい様子が見える。・本人の様子を丁寧に説明していただき本人のできることが増えたこと実感。・日々の情報は細やかにいただいているが共通理解までいたっていない。	・連絡ノートや公式ライン、送迎時や電話連絡などで、密に連絡を伝え合い、共通理解ができるようこれからも励めてまいります。 ・個別面談の機会を増やしていきます。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	85%	15%			・様々なサポートは感じます。 ・育児の困り事にしっかりと耳を傾けてくださり、否定することなく受け止めていただきました。人と比較せずにご自身に目を向けていく成功体験を積み自己肯定感を高めていく事の大切さを教えていただきました。	・ご要望に合わせて、その都度面談を行いご支援させていただきます。

	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	85%		15%		本人の体調不良で体調で参加できていませんが保護者同士の連携は支援されていると思います。	感染状況をみながら、今年度は2回保護者会を開催させていただきました。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	100%				・困ったときは、いつでもご相談くださいと声掛けしていただいています。 ・対応してもらっていると思います。	子どもたちにとって、よりよい日々が送れますよう、その時その時を大切に迅速に対応できるよう公式ラインや電話送迎時の報告をしています。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	100%				・連絡ノートやラインで共有できています。 ・ライン等を活用していると思います。	・公式ラインやSNS HP などにて情報伝達を行っております。
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	100%				・インスタグラムフェイスブック HP で発信されています。	・会報、ホームページ SNS にて、活動様子を発信、自己評価の結果はホームページ TOP に貼り付けています。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	85%	15%			・配慮されています。	・日頃から個人情報に細心の注意を払い、取り扱っています。
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	40%	30%	15%	15%	・保護者会に参加できなかったもので、どのような説明がされたのかわかりません。 ・少なくとも災害マニュアルは備えになっていないので見直すべきだと思います	・マニュアルの見直しを行い、配布と保護者会などで説明させていただきます。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	30%	30%		40%	・情報がないのでわかりません	・法令にのっとり、火災訓練や水害時の対応会義を行っています。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	100%				・朝「Sora さん行くよ」と声掛けすると荷物バッグをひきずり頑張って着替えをしても楽しみにしています。 ・暖かな雰囲気の中で職員の方や利用している子どもの声や存在にたくさんの刺激を感じて過ごしていると思います。	・Sora は、病院でも学校でもない特性を尊重しあう居心地のいいアットホームな場所を目指しています。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	85%			15%	・比較できないのでわかりません ・送迎をしていただけは大変助かっています。ひとりひとりに合わせて日々細やかな支援をしていただき感謝しかありません。 ・Sora さんへ行くようになり排便 糞食、自働行為が止まったのでとても感謝しています。職員の皆様から学ぶことか多く信頼できる事業所のため安心して預けることができます。	・そのときそのときを大切に、人の喜び、生きる喜び、生命の喜び、喜びにあふれた事業所を目指しています。

(注釈)

- i 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。
- ii 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。
- iii 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。
- iv 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。

.....  
(保護者等の皆様へ)

- この児童発達支援評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所を利用しているお子さんの保護者等の方に、事業所の評価をしていただくものです。

「はい」、「どちらともいえない」、「いいえ」、「わからない」のいずれかに「○」を記入していただくとともに、「ご意見」についてもご記入ください。